

## 令和元年度 第4回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会 議事録

審議会等名 令和元年度 第4回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会

日 時 令和元年12月17日（木）午後6時00分～午後7時05分

会 場 下野市役所 304会議室

出席者 大関 茂 委員、相澤康男 委員、百武 亘 委員、中西佑介 委員、  
伊澤雄人 委員、川田則之 委員、齋藤仁志 副委員長、館野正美 委員、  
松本文男 委員、松本賢一 委員、海老原忠 委員、竹田昌彦 委員、  
塩沢建樹 委員、倉井典子 副委員長、坪山 仁 委員長、近藤善昭 委員、  
田澤孝一 委員

【欠席委員】 田口裕之 委員

市側出席者 （事務局）星野友保 学校教育課課長補佐兼指導主事、森口哲二 同課主幹、  
佐々木功一 同課主幹兼指導主事、上野保久 同課小中一貫教育統括  
コーディネーター

公開・非公開別  公開 ・  一部公開 ・  非公開

傍 聴 人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和元年12月18日

### 1. 開会（星野補佐）

### 2 委員長あいさつ（坪山教育次長）

皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。皆さんご存じのように、現在、下野市で初めてとなります義務教育学校設立に向けた準備を皆様のご意見、地域の皆様のご意見をいただきながら進めているところでございます。事前に資料等を見ていただいていると思いますが、前回、学校名について5つほど候補を検討していただきました。その後で、推進協議会の検討、それから、地域説明会等で説明させていただいた中で、いろいろとご意見をいただきました。それを受けて、作業部会の方で更に候補を絞っていただいたわけですが、本日は、皆様のご意見をいただきながら校名を絞っていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。子どもたちにとって、よりよい学校作りを進めていくことがこの委員会の目的でございますので、お願ひをいたしましてあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくお願ひいたします。

### 3 報告・協議

#### （1）義務教育学校の校名について

（坪山委員長） 報告・協議に入ります。スムーズな会の進行にご協力ください。

まず、（1）地域・保護者説明会の結果について、事務局より説明をお願いします。

（森口主幹） [資料1：南河内中学校区義務教育学校の整備に関する地域・保護者説明会、資料2：令和元年10月開催 南河内中学校区義務教育学校にかかるアンケート結果について説明]

（坪山委員長） ありがとうございました。ただ今、事務局から、地域・保護者説明会の報告

がりましたが、ご意見・ご質問がございましたらお願いします。

次に入ります。(2) 義務教育学校の校名について、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹) 義務教育学校の校名については、前回の委員会で校名を5つに絞り、南河内中学校区小中一貫教育推進協議会及び地域・保護者説明会でご意見をいただきながら、総務部会で引き続き検討を進めて参りました。推進協議会では、5つの候補を引き続き検討することが承認され、また、地域・保護者説明会でも、5つの候補以外のご意見はございませんでした。これを受けまして、11月8日に開催しました総務部会で引き続き検討を行いました。検討結果につきましては、海老原総務部会長よりご説明をお願いいたします。

(海老原委員) [追加資料1：(仮称)南河内中学校区義務教育学校の校名候補について説明]

(坪山委員長) ただ今、校名の候補につきまして、作業部会で第1候補から第3候補までの3つに絞ったとの説明がありました。3つに絞った選定理由についても、ただ今説明していただいたところですが、この説明につきまして委員の皆様からのご意見・ご質問等があればお願いします。できれば、総務部会から出た第1、第2、第3の候補についてのご意見いただいて、準備委員会としてはどうするかということを決めたいと思います。それを、上部組織である推進協議会にかけたいと思いますので、作業部会から出された候補について、ご意見等をいただきたいと思います。

(百武委員) 一番目の「下野市立南河内小中学校」が一番いいと思います。確かに「義務教育学校」とわざわざ付ける必要はないかもしれませんが。子どもたちも、特に、小さい子は書くのも大変かもしれないと思います。

(坪山委員長) 今、百武委員から「下野市立南河内小中学校」という候補がいいのではないかというご意見がございましたが、その他ございますか。

(松本(賢)委員) 私も「下野市立南河内小中学校」でよろしいと思います。

(坪山委員長) ここでは、一つに絞らなくていいのかなと思います。まず、準備委員会の中では、第一候補という形で決めさせていただいて、2、3という形でもいいと思うのですが。最終的にこの上の会議である推進協議会で1つに絞っていただくような協議になると思うのですが。

(百武委員) 最終的には上の推進協議会にお任せして、3つにしておいていいのではないかと思います。

(松本(賢)委員) 理由にあるように、低学年でも「書きやすく」「覚えやすく」が一番いいと思います。

(坪山委員長) それでは、準備委員会の総意として「下野市立南河内小中学校」を第一候補として挙げるということではよろしいですか。総務部会の方では、「下野市立南河内学園」「下野市立南河内義務教育学校」という候補が挙がりましてということで、南河内中学校区小中一貫教育推進協議会に報告してよろしいですか。

賛同の声。

では、この後の推進協議会で、報告させていただきます。

では、次に移ります。(3) スクールバス運行に関する停留所について、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹)

〔追加資料2：自治会長提案書について説明〕

スクールバスについては、前回の準備委員会で報告した薬師寺小学校区10カ所、吉田東小学校区12カ所、吉田西小学校区16カ所の合計38カ所について、事務局が現地調査を行い、スクールバス運行管理部会で引き続き検討を進めて参りました。検討結果をご報告する前に、地域・保護者説明会でいただきましたご意見についてご説明したいと思います。本日配付しました追加資料2をご覧ください。この資料は、薬師寺3丁目自治会長の内木様が中心となり、スクールバス運行に関しまして各自治会長様に説明し、賛同のあった方々の署名を付して提案いただいたものです。ご提案の趣旨は、「①2km要件を撤回し、2km圏内の児童もスクールバスに乗車できるようにする。②大まかな区域ごとに児童の集合場所を設け、その集合場所と義務教育学校との間にスクールバスを運行する。③義務教育学校の方が近い場合は、直接義務教育学校に登校することもできる。」の3点で、また「2km以内は徒歩の案の最大の欠点は、地域を分断することです。」との意見も付されておりました。詳細は後ほどご一読願います。こちらの提案につきまして、11月15日に開催しましたスクールバス運行管理部会で報告し、検討していただきました。その結果、保護者代表の部会員の方からは「極力歩かせたい。」とのご意見をいただきました。また「雨の日は多くの方が車で送迎を行っており、自分は雨の日でも歩かせたいが、登校班の他の子が全部車だと自分も車で送るしかない。」「変質者や交通事故など何かあったらと思うと、見守りの人がいると安心できる。」等のご意見もいただきました。作業部会としては、交通の問題や変質者の問題など、昔は考えられないようなことが起きているような状況は心配ではあるが、「基本的には2km以上の児童を対象とする方針は崩さない」で、この先の検討を進めていくということで意見の集約をみました。その後、停留所候補地を事務局が現地確認した結果を報告し、小学校区ごとに更に検討を行いました。資料3及び追加資料3をご覧ください。

〔資料3：スクールバス停留所候補地の検討について説明〕

(坪山委員長)

ただ今、事務局からスクールバス運行管理部会での協議状況の説明がありましたが、ただ今の説明に関して、ご意見・ご質問等がございましたらお願いします。

自治会長からご意見をいただいた件については、作業部会の方で検討させていただいたということです。その中で、保護者の部員さんの中から、「できるだけ子どもたちには歩かせたい。」というご意見をいただきました。そういうご意見を集約した中で、「やはりこの2km圏内については、徒歩で通学ということで進めていきたい。」という作業部会の意見について、ご意見等ございましたらお願いします。

(百武委員)

内木さんの方には作業部会での話の内容を書面等を出してあるのですか。10月30日付けになっていますが、内木さんの方には、1・2・3の提案は入れずに、2km圏外対象でやりますよという作業部会の意見を添えて、

納得してもらっているのですか。

(田澤委員) 作業部会だけの判断ではまだそこまでの回答はできないものですから、この後、推進協議会がありますので、そちらでも報告させていただいて、その方向でいいたらうということになりましたら、報告させていただきたいと思います。

(百武委員) まだこの結果は報告していないということですね。

(田澤委員) はい。

(松本(賢)委員) 仁良川地区と西坪山地区の境の場合、臨機応変に対応してくれるということでしたが、それ以外に、もしも子どもが怪我をしたということがあったとしても、2km圏内の場合は乗車できないということですか。その辺をはっきりさせておかないともめる原因になると思います。

(田澤委員) スクールバス自体は、契約の段階で乗る児童について規定されており、一般に乗り降り自由な形ではないような利用をするように法律上定まっております。その場合、乗車予定の児童を事前に登録しますので、運用として乗せるのは難しいと思います。

(百武委員) 要するに、年度途中でなくて年度当初でないといけないということですか。

(坪山委員長) 運行する前の段階で、2kmきっちりではなくて

(田澤委員) 当然その、境界に入っている方々については、今後学校に行って説明する中で、おいでいただいて調整することになりますので、そこは、事情とかも加味して臨機応変に対応できると思います。東田中地区の方からも相談を受けています。「今、登校班には4名しかいない。その中で欠席者が出ると、これまでは、谷地賀地区の子どもたちと一緒にあって薬師寺小学校に登校しているのだが、谷地賀の子たちがスクールバスに乗れる対象になっているので、東田中地区を通る子どもがいない。そういう場合の対応が難しい。」というご相談です。そういうことも、詳しく状況を伺って検討させていただくことにはなると思います。

(松本(賢)委員) 同じ登校班の場合は、2km以内の場合でも乗せるということで確認したと思いますが。同じ自治会でないとだめなのですか。

(田澤委員) 一緒には来ているけれども、別の自治会、別の登校班になっているものから、その辺のところをどう考えるかということになります。

(松本(賢)委員) その辺の所の対応を決めておかないといけないと思います。決めてしまってふり落とすのもかわいそうだし、だけれども「やはりルールだから」とするのか、もう少し煮詰めた方がよいと思います。

(百武委員) スクールバスが運行される時の人数にもよると思います。西坪山地区は、スクールバス運行が始まる時は2人か3人になってしまうといえます。そうすると、1カ所でいいことになります。しかし、変化に対応するために予備候補を作っておかなくてはならないということでしょう。

(坪山委員長) バス停は子どもの住む場所に近いところに作るのも、その都度変わります。今回は令和4年度の子どもたちを対象に場所を決めているのだと思います。今後何年かの内に子どもたちの状況も変わるので、バス停の位置も再度検討してもらおうことになります。

(大関委員) 年度当初に見直すわけですね。

- (百武委員) 毎年やるとよいと思います。
- (坪山委員長) ただ今のご意見等も含めながら、スクールバス運行の協議を進めてもらうということでもよろしいでしょうか。
- 続いて(4)歴史コーナーについて、事務局より説明をお願いします。
- (田澤委員) [資料4：歴史コーナーに残したいもののリストについて説明]
- (坪山委員長) 事務局の方から歴史コーナーについて、それぞれの学校が持っている歴史的なものについて洗い出しを現在進めているという説明がありました。その洗い出しを進める中で、レイアウト等も検討しているということですね。残したいものはたくさんあると思いますが、今、それを洗い出している途中ということで、ご報告させていただいたところですが、先ほどの説明にもありましたように、今後、学校の利活用状況によっても変わるといいますので、その部分も慎重に見ていきながら、検討していきたいと思います。今の説明の中で、ご意見等がありましたらお願いします。
- (百武委員) リストの中に、「新校」「旧校」に○が付いていますが、どういうことですか。
- (田澤委員) 最初に事務局の方から各学校に洗い出しをお願いした際に、旧校舎が残るということを前提で考えてみてくださいということで依頼したので、その欄を設けました。この段階では、新校に持ってこられるような比較的小さいものについては「新校」に○を付け、大きくて動かしにくいとか旧校の方が地域の方が見たりしやすいのではないかとと思われるものは「旧校」の方に○を付けていただいたというものです。先日確認したところ、旧校舎まで残る方向で考えておくと、後々不都合がおこるのではないかとというアドバイスをいただいたものですから、今後それも検討して、ほぼ新校に持ってくるものとして検討していくことになると思います。例えば校庭にある記念碑等も公共施設のマネジメントの方で、旧校舎をどう使うかによって、撤去や移設を考えなければならないことになると思いますので、そういう部分も、検討の対象になってくると思います。以上の理由で、「新校」「旧校」は今後の検討になりますので、○印は気にしないでいただきたいと思います。
- (百武委員) これらは持ち運びできるからいいが、できないものをどうするかを考えなければならないと思います。
- (坪山委員長) まだ、途中なものですから、その辺も含めて、部会の方で続けて検討いただければと思います。
- (中沢委員) 今後残すものとして、部屋を一つ使っている例があるのですが、図書館の一部に展示したりするのもよいと思います。また、予算の関係や法律的にいかどうかわかりませんが、デジタルデータにして展示するなど、長期的な目で見て、何年後かには全てデータベース化していこうというように発展的に考えた方がいいのではないかと思います。
- (田澤委員) 図書館展示につきましては、一つのアイデアとして部会の方に報告させていただきます。デジタル化につきましては、総務部会でも、部員の意見として出ておきまして、今回、各学校で閉校に向けて閉校記念誌を作っていくことになると思うのですが、各学校の歴史を刻んだ写真や文章を一つ一つデジタル化しておけば、それが記念誌等にも使えますし、将来的に各学校の記録を残すということにもつながるので、デジタル化した方がいいという

意見がありました。どのように公開していくかということについては、検討が必要にはなるのですが、そのような意見が出ておりましたので、進めていければと考えております。

(坪山委員) 今の意見を十分に考慮しながら、検討を続けていっていただきたいと思います。

(5) 閉校・開校式典準備に関するスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

(田澤委員) [資料5：実務作業部会 総務部会 閉校・開校式典準備に関するスケジュール(案)、資料6：国分寺西小学校閉校記念誌について説明]

(坪山委員) ただ今、事務局から閉校・開校に向けたスケジュールについて説明がありましたが、閉校まで、または開校式を行うまでには、かなりの準備が必要になると思います。記念誌などもそうですし、旧国分寺西小学校の例にもあるように1年前には、記念イベントなども行いました。そのためには、2年以上前から計画しないと準備が進まないということで準備を進めていただいているわけでございます。本会議でもその都度、報告が入ると思います。今の説明の中で、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

(坪山委員長) 今後記念誌を作るのに、皆さんの所有する学校関係の写真等の提供をお願いするかと思います。

(田澤委員) 同窓生の方々には、写真の提供とか、学校の方から呼びかけ等があると思います。一番先には委員さんの方にお話があると思うのですが、ご協力がいただければと思います。

(坪山委員長) 学校にはあるにはあるが、なかなか揃わない部分もあると思うので、皆さんから写真等の提供をしていただければ記念誌に載せることもできます。学校の方から今後ご協力のお願いがいくかと思うのですが、その時はよろしくお願いします。

(田澤委員) 資料の6の説明が抜けました。1枚目は、旧国分寺西小学校の閉校時に作った記念誌の表紙と目次です。2枚目には、閉校式の式次第等が載っております。記念行事の様子などもあります。最後のページは閉校式の第2部の式次第です。

(坪山委員長) 今後もこういう形で閉校・開校式に向けた準備を部会の方で進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

(中沢委員) せっかく各校集まっていますので、各校閉校イベントをした上で、新しく小中一貫の学校になった時の記念として開校のイベントになるようなことを行うといいのではないかと思います。その後「学校のお祭り」という形で残していけば、次に繋ぐことができると思いますので、計画の方に入れていただきたいと思います。

(坪山委員長) 今後に続くようなイベントを検討してほしいということですね。記念誌については、薬師寺小、吉田東小、吉田西小などは140年以上の歴史があるので、相当なボリュームになると思います。

(百武委員) 絹義務教育学校のものは薄かったと思います。

(相澤委員) 国分寺西小学校のものは結構立派な冊子になったと思います。

(坪山委員長) それでは、(6) 学校運営協議会編成スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

(田澤委員) [資料7：実務作業部会 総務部会 学校運営協議会新組織編成スケジュール(案)について説明]

(坪山委員長) ただ今、学校運営協議会の編成について事務局から説明がありました。現在各学校にそれぞれ学校運営協議会がありますが、義務教育学校の設立に伴って、一つの学校運営協議会になりますので、それに向けて現在編成の作業が進められているということでございます。まだ検討の段階ですので、今後、引き続き検討の方をお願いしたいと思います。

学校運営協議会について、ご意見・ご質問等ございますか。

今、お手元に回覧しているのが、国分寺西小学校の閉校記念誌です。大変立派なものです。それくらいの記念誌が、各学校でもできるということで、参考にご覧いただきたいと思います。

最後に、その他ということで、事務局より何かありますか。

(森口主幹) 特にありません。

(坪山委員長) 以上で議事を終了させていただきます。ありがとうございました。